

授業科目		病理学各論Ⅲ	実務経験	開講時期	単位数	授業形態	時間数
			◎	1 年次後期	1	講義	30 時間
到達目標	1. 表現に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 2. 表現に関連する生体の診断を理解する。 3. 表現に関連する治療について理解する。 4. 活動に関連する症状と病態を捉え、疾病の成り立ちを理解する。 5. 活動に関連する生体の検査について理解する。 6. 活動に関連する治療について理解する。						講師
							脳外科医師 整形外科医師
授業計画							
1 回	表現（脳・神経障害）に関連する症状と病態生理						脳外科医師 (14 時間)
2 回	表現（脳・神経障害）に関連する検査・診断と治療・処置						
3 回	表現（脳・神経障害）に関連する疾患 脳疾患						
4 回	表現（脳・神経障害）に関連する疾患 末梢神経障害						
5 回	表現（脳・神経障害）に関連する疾患 筋疾患・神経筋接合部疾患						
6 回	表現（脳・神経障害）に関連する疾患 脱髄・変性疾患 感染症 中毒						
7 回	表現（脳・神経障害）に関連する疾患 てんかん 認知症 内科疾患に伴う神経疾患						
8 回	活動（運動器）に関連する症状と病態生理						整形外科医師 (16 時間)
9 回	活動（運動器）に関連する診断・検査と治療・処置						
10 回	活動（運動器）に関連する疾患 外傷性の運動器疾患						
11 回	活動（運動器）に関連する疾患 内因性の運動器疾患 先天性・炎症性疾患腫瘍						
12 回	活動（運動器）に関連する疾患 内因性の運動性疾患 代謝性骨疾患 腱の疾患 神経・筋疾患						
13 回	活動（運動器）に関連する疾患 内因性の運動性疾患 上肢及び上肢帯の疾患 脊椎の疾患						
14 回	活動（運動器）に関連する疾患 内因性の運動性疾患 下肢及び下肢帯の疾患						
15 回	活動（運動器）に関連する疾患 内因性の運動性疾患 ロコモティブシンドロームと運動器不安定症 フルル サルコペニア 廃用症候群						
評価方法	修了試験 選択肢又は論述問題による筆記試験（100%） 脳外科医師（50%）、整形外科医師（50%）を総合して評価する						
教科書	共通 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 医学書院 脳外科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑦脳・神経 医学書院 整形外科医師： 系統看護学講座 専門分野 成人看護学⑩運動器 医学書院						
備考	予習においてはテキスト、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。復習においてはテキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。						